

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会
Society of Study for Community Welfare (略称SSCW)

発行：NPO法人 地域福祉を考える会
発行人：理事長 宮森 孝史
事務局：〒259-1142

伊勢原市田中256番地の1-301
TEL・FAX 0463-95-6665
メール office@tiikifukusi.com
ホームページ http://tiikifukusi.com/

ニュースレター

新年 おめでとうございます



当会の活動に対し皆様方にはあたたかいご支援とご協力をいただきましたこと心から感謝を申し上げます。

新しい年をどのようなお気持ちで迎えられましたでしょうか。今年こそは、本当に安心・安全な日々が保障される世の中になることを願っております。

昨年も自然災害のみならず、ヒトという種しか為し得ないような愚行がはからずも繰り返される事件が起きました。中でも七・二六相模原での殺傷事件は世に強い衝撃を与えました。災害や事件が起きる度に人々の心は傷つけられます。望んでもいないことに遭遇する機会が増えてきていることには何か意味があるのでしょうか。人の心に向き合う仕事を始めてから40年が過ぎたというのに、未だ人の心がわかりません。私事で恐縮ですが、昨年高齢者の仲間入りを果たし、迎える3月で停年退職となる予定でしたが、更にとのお声がけをいただき新天地にて当分現在の仕事を続けることになりました。“心の専門家”を育てる仕事は正直楽しいものではありません。ただ、世の中がその専門性を強く必要としている時代になっていることは確かなようです。鬼が笑うかもしれませんが、来年は国家資格である“公認心理師”元年の年となります。今年はその準備の年として、養成カリキュラムの整備と指定校の審査が開始される予定です。気持ちを新たに、新年の計を誓い念頭の挨拶とさせていただきます。“さすらいのカウンセラー”は今日も行く！

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

理事長 宮森 孝史



未来セミナー（読書会）



第5回 読書会
課題本『脳が壊れた』

著 鈴木大介(新潮新書)

日時:2月25日(土)2時~4時

場所:当会事務所内

参加費:300円



宮森孝史アドバイザーと一緒に読書を通じてみなさんとおしゃべりをしませんか。お気軽にご参加ください！

初めての参加の方は連絡を
事務所 ☎95-6665

いせはら みらいクイン **こども食堂**



■ 1月~3月の予定 ■

1/26 (木)
2/7 (火)、2/23 (木)
3/14 (火)、3/30 (木)

時間:午後5時半~7時半

場所:だいろくコミュニティー広場 来るいん
(アサヒフラザ1階 奥)



1/26 (木) 献立の予定
から揚げ、タコ焼き、豚汁



お二人の利用者さんからのメッセージ

★ 私には、小学生と2才のこどもがいます。こども食堂へは2才のこどもの友だちと何回か行きました。2才のこどもはとても可愛い時期ですがとっても大変な時期でもあり、外食するのもちょっと大変な時期でもあります。でもこども食堂へ行くとこどもが遊ぶスペースが少しあり食べ終わったら、そのスペースで遊ぶことができ、その間に親たちは食事することが出来るこのスペースはありがたいと思います。食事の内容も私はいつも火曜日に行っていますが、毎回メニューがかわり美味しいです。たくさんの人からの協力でできているこども食堂。たくさんの人に感謝しながらまた利用したいと思います。 K.N (母親)

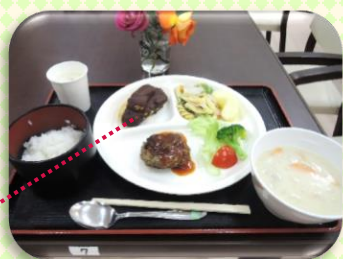
子ども食堂の名前にふさわしく幼児から、小学生低学年ぐらいまでの子どもたちが、用意された席で会食中、席は満杯。食べている子、泣きわめく子、賑やかで、なごやかな雰囲気でした。ボランティア女性たちが笑顔でかいかいしく、お客をさばいている光景は何とも頼もしく、元気を与えてくれる。

やがて、空いた席に案内され着席。すぐに食事が運ばれる。主食、主菜、副主菜スープ、デザート、の果物も老人には多すぎる量だ。

独り暮らしで毎日さびしい食事をしている私の生活とことなり、ここでは相席の女性と語りながら楽しく食事ができて満腹、満足の30分でした。ありがとうございました。

大人300円、こども100円、この金額で採算とれるわけがないと思いながら帰宅して改めて「ニュースレター」を見た。多くの個人、企業から食材提供、協賛金援助、そしてボランティアスタッフの奉仕で運営されていることを知る。「おたがいさま」の強い精神がこども食堂を支えている。 男性 (84歳)

12/22 (木) ハンバーグ&シチュー フルーツポンチ



差し入れのエクレーア
子供たちにはお菓子のプレゼントが!



12月22日は95人の参加者があり7時20分には完売してしまい、そのあとで来られた方はお断りしてしまいました。ごめんなさいね。次回お待ちしております。



親子で、家族で、終了間際までにぎわっていました。

★★ 学習サポート みらい・つなぐ ★★



この事業は、経済的に困窮している家庭・子供たちに、低額で学校教育外の学習支援、子どもたちが将来に希望を持てるように支援を届けたいと願って立ち上げました。目的：「学習支援」「子どもの居場所」「保護者相談」を柱に進めております。昨年9月7日（週2回）から始めました。

今現在の児童生徒数は、小3年（1）小4（4）小6（1）中2（4）中3（2）計12人です。勉強を少しでも好きになり楽しく学ぶという姿勢で進めていますが、それぞれが真面目で真剣に学ぶ姿に、サポーターもその個にあった指導法を工夫しております。

📌 お楽しみ会開催

12月21日は「お楽しみ会」で保護者・サポーターも合わせて33人が参加。石川茂雄サポーターによる理科学工作・学生サポーターによる工作実験・ゲーム・子どもたちのダンス（照れながら）や、サンドイッチ、差し入れのケーキ等でひと時を過ごしました。



ありがとうございました

こども食堂・こども支援への物資支援

お米・果物・秋刀魚・つくだ煮・お野菜・洗剤等 提供していただきました。心から感謝を申し上げます。

◆食材提供者◆（敬称略）10月～12月

居酒屋 鳩（伊勢原）安藤雅代（板戸）鳥海あき子（上平間）
 笹原 勉（板戸）田中敏朗（西富岡）田中敦（西富岡）
 中野道子（上平間）大山綜合食品（大山）上崎照子（日向）
 大津屋（大山）旗川果樹園（田中）、江頭 系（板戸）
 大久保里子（板戸）細谷毅義（高森）高橋俊一（下糟屋）
 中台英明（沼目）市川七郎（高森）山岡直子（厚木）
 亀井素代（下落合）湯浅貞子（板戸）島田ひろ子（田中）
 楠本忠男（東大竹）匿名（須賀川）白くま企画（福島）
 WE21 ジャパン厚木〈フード・ドライブ〉



福島県須賀川の匿名さんから



WE21 ジャパン 21 厚木
 フードドライブ

児童コミュニティクラブだより

新年おめでとうございます。

児童コミュニティクラブを利用して頂いている保護者の皆さま、学校の先生方、地域の皆さま、ボランティアの皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。本年もよろしくお願い致します。

今年は「とり年」。子どもたちが飛躍する年になる事を願い、支援員・職員共々、安心・安全に心掛けて児童コミュニティで過ごす子ども達を見守りたいと思います。

児童コミュニティクラブ代表 安武 敬子

●10月～12月のコミの活動●

<ハロウィン行事> マント作り、バック作りをしました。

恒例の比々多保育園訪問です



伊勢原1

丁寧に切りましょう



伊勢原2

かぼちゃのバッグ作り



比々多2

ハッピー・ハロウィン!



伊勢原1

マント作り



比々多2

マントできました



お菓子、どうぞ

伊勢原1



ハロウィンパーティー



魔女の帽子、素敵ね

伊勢原2



トリック・オア・トリート!

比々多2



素敵なキャンディレイ

比々多1



皆でいただきました



カ・ン・パ・イ

比々多第1、第2は学校振り替え休日(10月31日)にみかん狩りに行きました。

比々多1



「まるひろ園」さんに挨拶

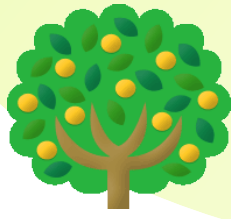


おいしいね〜

比々多2



とったよ〜



比々多1



全員集合です

比々多2



皆でランチ

<クリスマス会の様子>

12月21日、22日、4児コミでクリスマス会が開かれました。



マジックショー

伊勢原1



箱からハトが…!



楽しかったかな?

伊勢原2



マジックショーのお手伝い

ビンゴ大会

比々多1



当たってくれ〜

比々多2



おいしいよ!

比々多2



皆でパチリ



賞品、迷うなあ



クリスマス飾り

伊勢原2



オーナメント作り

比々多1

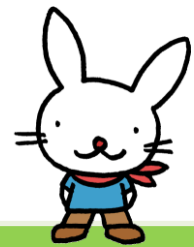


手作りツリー

◆ コミの行事予定 ◆

	1月	2月
伊勢原1	初詣 正月遊び	節分 バレンタイン
伊勢原2	初詣	
比々多1	初詣	
比々多2	初詣	

子育てひろば「きらきら」



◆活動場所：シティプラザ1階
ふれあいホール

◆時間：午前10時～12時

◆参加費：一組100円 予約は不要・出入り自由です。
どなたでも参加できます

◆開催日

	火	火	木	火	木	火
1月				17★	26★	
2月	7★	14	16	21		28
3月	7	14		21	23	28



「きらきら」は、未就園児のお子さんやその保護者のためのスペース。子どもを遊ばせながらのんびりと過ごせます。

＜お楽しみイベント＞

- ★ 1月17日(火) おはなしばる〜ん
- ★ 1月26日(木) リラックスヨガ体操 (山戸浩子さん)
- ★ 2月7日(火) おやつを選び方他 (COOPさん)

12/13 (火) もぐら座公演



人形劇「おおきなかぶ」
大きなかぶを犬や猫の力を借りて
掘ることができましたとさ

楽しかったよ！

12/20 (火)、22 (木) クリスマス (サンタクロース) お飾り作り



ママさんたち一生懸命制作に
とりかかっています

災害時の乳幼児支援

乳幼児は、平時でも、生きていくのに大人(保護者)からも多くの支援が必要です。地震、津波。水害などの大災害が起きると、ライフラインが止まります。

例えば真冬に電気・ガス・水道が止まった時、大人が大丈夫でも、乳幼児は即座に命の危険にさらされます。

乳幼児は、環境の変化を大きく受ける災害時要支援者です。

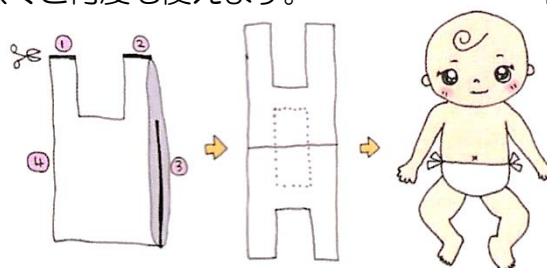
・・災害時に役に立つ防災術・・

おむつがない！→レジ袋で

本物の紙オムツのようにフィットはしませんが、急場しのぎに、またママの生理用品の代用にも。なんども貼り直して使えるタイプの紙オムツがある場合は、外側のカバーになる部分を捨てずに使用後は中身をかき出して捨てて、その部分にタオル等を切手敷くと何度も使えます。



防災ママブック(stma.jp)より



①から順番にきる ②ガーゼやタオルを置く ③ヒモの部分を結ぶ



成年後見部会



意思決定支援について (No. 2)

成年後見部会 部会長 勝田 俊一

ご存知の通り成年後見人・保佐人・補助人とも、ご本人の財産管理だけではなく、身上監護も大切な業務の一部です。身上監護とは簡単に言うと日常生活全般に対する見守りや手助けです。その中には福祉サービスを利用する時の契約やサービス内容の見守りが含まれます。つまり介護保険のサービスや福祉サービスがご本人の満足のいくものであるのか、他の選択肢はないのか、ケアプラン通りに提供されているかどうか、病状や加齢、障害の状況変化にあったものなのかどうか、などご本人の意思に関わる場面が多くなってきます。

特に認知症のある方、障害のある方などの場合、たとえ言葉で意思が伝えられる人でも『意思の表明しやすい環境で表されたものか、周囲に誘導されて出した結論ではないか、選択肢が限られてはいなかったか、十分な考える時間が確保されていたか、一度表明した意思を訂正できる環境かどうか』などなど、より丁寧な意思決定のための進め方が必要です。

後見人に関わらずどうしても支援する立場の人達は『転ばぬ先の杖』を考えてしまいがちです。特に年齢の若い人達、やり直しがきく事柄に関しては、失敗もまた学びの一部です。人間は常に正しい選択肢で生きているわけではありません。いわゆる『愚行権』(法律に触れない範囲での愚行、たとえば無駄使い、食べ過ぎ飲み過ぎなど)も、もしかしたら人生を豊かにする一部かもしれません。

家族や福祉サービスの提供者、成年後見人の考え方や助言などが、ご本人の意思と対立することもあるかもしれません。その時には十分な時間と意思表明がし易い環境を整えてご本人の意思決定を支えていかななくてはなりません。ただし「今決めなければならないこと」も存在します。簡単なことではレストランで注文するメニュー、重大なことでは怪我をした時の治療など、のんびりと決めている時間がない場合もあります。こんな時には事前の準備(普段からの好みの把握、ネットで店のメニューを調べておく、万が一の時の治療方針を話し合っておくなど)が大切になります。

<次回につづく>

成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分なために、悪徳商法の被害にあうなどの財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で支援する仕組みです。

無料相談受け付けております

成年後見制度についての説明を望まれる方は
当会事務所までご一報ください
電話：95-6665



著書案内

「見てわかる意思決定と意思決定支援」

(発行) ジアース教育新社 2016/9/2

(共著)

志賀利一

渡邊一郎

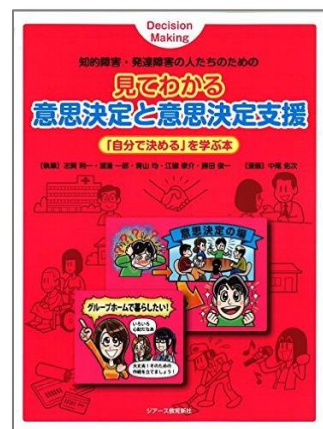
青山均

江國泰介

勝田俊一

(イラスト)

中尾佑次



ありがとう

平成28年度ご寄附者名簿

(H28. 10月～H28. 12月分、敬称略)

永井武義 2,000円、 N・N 5,000円
 島津淳 10,000円、 金子みどり 3,000円
 S・S 3,000円、 匿名 5,000円
 N・K (2件) 6,000円 (学習支援に)

◆子ども食堂協賛金◆

匿名 (6件) 13,462円、
 遠山芳子 3,000円、 金子みどり 3,000円
 合計 53,462円 (28年度累計) 299,184円

＜ご寄付のお願いについて＞

各活動を継続して運営するために、皆さまの温かいご支援を必要としております。そのご支援によって、より充実した地域福祉を提供することが出来ます。どうぞ宜しくお願いします。

＜寄付振込先＞

横浜銀行 伊勢原支店 普通 6116229
 特定非営利活動法人地域福祉を考える会



『認定』の取得にあたっての寄付金控除について



当法人は平成28年9月27日に、『認定NPO法人』となりました。これにより、当法人にご寄付いただいた方々には、市県民税のほか所得税の「寄付金控除」も受けられることとなりました。伊勢原市民の方は最大50%、市外でも神奈川県内在住者の方は最大44%の寄付金控除が受けられます。

平成28年中にご寄付いただきました皆様には、平成29年1月中に「寄付金受領証明書」をお送りし、控除の受け方等もご案内させていただきますが、ここに概略をお知らせいたします。

① 個人県民税・個人伊勢原市民税の寄付金控除の受け方

県内市町村の住民税担当課に、3月15日までに当法人が発行した「寄付金受領証明書」を添えて「寄付金税額控除申告書」を提出してください。

【控除額の計算方法】

(平成28年中の寄付金合計額 - 2,000円) × 県民税4% (伊勢原市民の方は、+6%)

【例1】年間寄付金額20,000円の場合

(20,000円 - 2,000円) × 4% = 720円の税額控除となります。

伊勢原市民の方は

(20,000円 - 2,000円) × 10% = 1,800円の税額控除となります。

② 所得税の寄付金控除の受け方

所管の税務署 (市町村でも受付可) に、3月15日までに当法人が発行した「寄付金受領証明書」を添えて「確定申告書」を提出してください。

【控除額の計算方法】

(平成28年中の寄付金合計額 - 2,000円) × 所得税40%

【例1】年間寄付金額20,000円の場合

(20,000円 - 2,000円) × 40% = 7,200円の税額控除となります。

(注) 平成28年に限り、所得税の控除が受けられる寄付金は、認定を受けた平成28年9月27日から12月31日までに寄附された金額が対象となります。平成29年からは通年が対象となります。

